

プレシヤス Precious

http://web-precious.com

2012
APRIL 4

「白パンツ」なくして
おしゃれな春は
始まらない!

<ファッション&ビューティ>
「ピンク」をまとう女は
幸せになれる…大研究

今欲しいのは
「人生が楽しくなる」
バッグ

大人には大人の
「すっぴん美肌」ベースメイク

<特別別冊付録>
あなたの知らない
「ティファニー」
7つの秘密

<レストランガイド>
東京よりぬきの
名皿66



<ファッション総力特集>

<創刊8周年記念企画>
プレシヤスキャリア52人の証言
「人生って素晴らしい!」

毎日「素敵!」と ほめられる コーディネート55

春の基本スタイル別に、
差がつく着こなし実例を考えました!

着る服に
迷った日に役立つ
全コーディネート
一覧付き!

〈創刊 8 周年記念企画〉 人気連載「Life is so precious!」アーカイブ

プレシヤスキャリア52人の証言

人生って素晴らしい!

世界24か国、388人の女性たちの豊かな人生を、ギュッと凝縮してお届けします!

2004年4月号の創刊号以来続く巻頭連載「Life is so precious!」。毎月、世界各国の4都市から、4人のキャリア女性が登場し、その充実した仕事ぶり、変化に富んだ豊かな人生を語ってくれました。今回は、その総集編として、今月号を含めてこれまでに登場した総勢388人中、52人の人生賛歌を、追跡取材と再録でもう一度ご紹介します。

Macerata

London

Kobe

Rio de Janeiro

New Delhi

New York

Honolulu

撮影 / 唐澤光也 (パイルドライバー / 静物)
立体製作・イラスト / 水野真帆 レイアウト / 加藤安希子
構成 / 岸良ゆか・剣持亜弥・大庭典子 (HATSU)、
後藤淳美 (本誌)

Coordinate / Aya Takada, Chieko Tomita, Chieko Yahagi, lundberg,
Chizuru Garcia Fujisaka, Kiyomi Yui, Kumiko Tanaka,
Hiroko Kawamura-Palmunen, Hisayo Kisanuki, Makiko Monji,
Mieko Yagi, Michiyo Murayama, Miho Sausser, Naoko Hosokawa,
Naoko Takahashi, Nobuko Nabeshima, Rika Grant, Taro Ueno,
Tomoe Kim, Yasuko Malhotra, Yuka Hasegawa,
Yuki Katagiri, Yuki Kobayashi, Yumi Sakauchi

Kobe

12年のキャリアに終止符を打ち、
ホテル支配人から起業家へ。
ホスピタリティで人々の意識を変える

「ホスピタリティ・ブランディング」取締役社長

永末春美さん

この3年で…

2009年

フレンチレストランで知られる会30
室の都市型オーベルジュ「神戸北野
ホテル」支配人として、さまざまな
試みに挑戦。



2012年 現在

経営や人材育成を提案するコンサル
ティング会社「ホスピタリティ・ブ
ランディング」社長。「神鋼環境ソリュー
ション」社外取締役としても活動中。

39歳で支配人に就任した「神戸北野ホテル」を辞して2年。永末さんは、自らが企画した大好きなラゲビ

ーのトークイベント会場で、それはそれはいきいきとした笑顔でゲストを迎えていた。現在の肩書きは、「ホスピタリティ・ブランディング」社長。12年にわたるホテル支配人の経験で学んだ「ホスピタリティ」をキーワードに、コンサルティングやセミナー、研修などを行っている。「神戸北野ホテルに来て3年目の春に、縁あって、地元の上場企業の社外取締役に、というお話をいただいた。そんな大役とても無理！と思っただけですが、周囲は「めったにないチャンスだからやるべきだ」と

当時の永末さんは、ホテル業界での奮闘ぶりを綴った本の出版を機に講演も急増。さらに社外取締役の話も受けるとなると、ホテルを不在にすることも多くなる。「そのときふと、『独立したらどうなるんだろう』と思っただけです。この機会に、自分の足で立ってみたら…って、悪魔のささやきが(笑)」これにはうって変わって、周りは大反対。「ホテルの肩書きがないと違うよ」と心配されたが、永末さんは思いきって足を踏み出した。「ホテル時代、私は「ホスピタリテ

ィ」もてなしの心をもって働くことが、業績アップや人材育成につながるということを身をもって知りました。「ホスピタリティ」のある仕事術は、ビジネスだけでなく、生き方にも通じる。そのことを多くの人に伝えたい、そして仕事に役立ててほしいと思っただけです。と同時に、私自身がこれからも成長し続け、自分らしく働き続けるためにも、今こそ独立すべきだと強く感じました。「思いやり」という女性ならではの感性を生かして、さまざまな仕事に挑戦していきたいと思っています」

撮影／藤谷清美 取材・文／剣持亜弥(HATSU)



2009年3月号掲載

30歳でホテル業界へ飛び込み、業績不振にあえいでいた神戸のホテル業界にあって、「稼働率100%を目指す」「ホテルを知ってもらうために女性向けのサロンを企画」など、さまざまな改革を敢行し話題に。経営やキャリアアップに関する講演も行っていた。